

科目名	社会福祉論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	2	後期			
担当者名	工藤 隆治	関連する資格	栄養士 免許 必修				
授業概要 わが国は、少子高齢化、虐待、生活困窮、介護、障害者の自立支援など社会福祉の問題が多様化している。このような現状を踏まえて、本講では、社会福祉の意味を把握したうえで、イギリス、日本の社会福祉の歴史を概略史的に学んだ後、社会福祉の各論について学習する。							
到達目標 社会福祉の原理や理念歴史を理解したうえで、社会福祉の基本的な知識を説明できる。			成績評価方法 学期末試験を中心に、授業内レポートを含めて評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					85
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) 社会福祉論とは				授業内レポート			
2) 現代社会の推移による生活ニーズの変化							
3) 社会福祉の意味							
4) エリザベス救貧法と新救貧法 社会福祉の歴史①（イギリス）							
5) イギリスの貧困調査ーチャールズ・ブースとシーボーム・ラウントリーの活動を中心にー 社会福祉の歴史②（イギリス）							

6) 慈善組織化運動（COS運動）とセツルメント 社会福祉の歴史③ (イギリス)	
7) 近代社会における社会事業の成立－明治期から第2次世界大戦終戦まで－ 社会福祉の歴史④（日本）	
8) 占領期から平成の福祉改革までの社会福祉 社会福祉の歴史⑤ (日本)	
9) 社会保障の意味	授業内レポート
10) 公的扶助（生活保護）の概要	
11) 高齢者福祉の概要	
12) 児童・家庭福祉の概要	
13) 障害者福祉の概要	
14) ソーシャルワークの原理	
15) 社会福祉の補充性	授業内レポート
授業外学習	
授業計画を確認して、各授業内容に該当するテキストの章を読んで、予習をしておいてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎時間、授業で配布する資料を使用する	
備考	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画は、授業の進行状況などにより、変更することもあるので注意すること。 ・ 授業計画に示された項目について、主体的に学ぶ姿勢を身につけること。 ・ 携帯電話の電源を切り、鞆などにしまっておくこと。 	